

## 「藻場や干潟が多様な価値を創生 人と地球を癒やし育む海のチカラを感じよう」

担当：国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収し、地球環境を守る働きをしている沿岸域のブルーカーボン生態系。自然の力によって地球環境を保全するために、藻場や干潟を再生させる活動が日本各地で行われています。そこで、国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 海洋環境・危機管理研究室では、このような環境保全活動をサポートするための研究や技術支援を実施。最新の研究によって、藻場や干潟の造りが地球温暖化を緩和するだけでなく、高い経済効果を生み出すことも分かってきました。私たち人間が、海をもっと身近に感じて親しむことが、未来の地球環境を守ることにつながる、そんな新しい視点から環境問題について考えてみましょう。

動画「ブルーカーボンと沿岸域の環境価値～海あそびがつなぐ地球の未来～」(長編版 約6分 2021/4 公開)

<https://youtu.be/7qpDfC2WYq8>

ぜひご覧ください！



動画サイト (You Tube)  
スマホ等からもご覧頂けます。

オンライン 東京湾大感謝祭2020 出展記事

<https://tokyobayfes.jp/online-exhibition/nilim/>

1. 海の生物たちが地球の温暖化を食い止める！ブルーカーボンの重要性
2. 生き物が集まる藻場を再生させることで地球の環境を守る
3. 藻場や干潟から生まれる効果、私たちの生活にもたらす恵み  
(参照：「沿岸域における環境価値の定量化ハンドブック」)
4. 海に親しみながら生きることで未来の豊かな地球環境を創る



藻場、干潟等の海域において植物が光合成などの作用で二酸化炭素を吸収し、体内や土壌に蓄積させた炭素のことを、ブルーカーボンと呼びます。



沿岸に広がる藻場や干潟は、地球温暖化を抑制する機能だけが優れているわけではありません。

藻場や干潟は、海生生物を豊かに育み、海に親しんで生活する人々を笑顔にしてくれるでしょう。

出典：2020 東京湾大感謝祭実行委員会事務局 HP

### ※東京湾大感謝祭

東京湾大感謝祭は、東京湾周辺の住民が与える環境負荷による諸問題に対して、市民や企業、団体と国や自治体とともに、海を起点にライフスタイルの転換を考え、行動するきっかけを提供する場として、横浜赤レンガ倉庫および周辺会場において2013年から開催され、これまでの来場者数は、約10万名となりました(2020 東京湾大感謝祭実行委員会事務局 HP より)。

2020 年は、オンラインでの開催となり、海洋環境・危機管理研究室が、「藻場や干潟が多様な価値を創生 人と地球を癒やし育む海のチカラを感じよう」と題して、記事及び動画の掲載により参画しました。なお、記事及び動画は、2021 年の9/30 まで公開される予定ですので、ぜひご覧ください。